

特集「ススメ！論文検索」

はじめまして：SSH通信です

こんにちは、SSH通信です。本通信では、皆さんの課題研究等の探究活動を中心に、高校生活をより豊かなものとするべく、担当教員が情報共有を行なっていければと考えております。よろしくお願いいたします。さっそくですが今回は、「論文検索」にフォーカスを当てて紹介いたします。

論文に触れてみよう

「論文」と聞くと、難しそう、とっつきにくそう、得体の知れないもの、そのようなイメージがあるかもしれませんが。しかし、インターネットが日々の生活にこんなにも身近になった今の時代、「論文を読む」ことのハードルも非常に下がりました。そこで今回は、インターネットを活用した「論文検索」の方法について、お伝えします。ぜひ皆さんも、興味を持ったことに関して手軽に論文検索を行い、知的好奇心の赴くままに冒険してみましよう！

Google Scholar を使ってみよう

Google が提供してくれるサービスのなかには、論文検索エンジン「Google Scholar」というツールがあります。普段の Google 検索との違いは、ネット上に公開されている学術論文やその情報をまとめて表示してくれる点です。使い方は至ってシンプルで、次の3つの Step を踏めば誰でも論文検索することができます。



Google Scholar

手順1) 「Google Scholar」と打ち込んで検索する(もしくは右上のQRコードを読み取る)。

手順2) 調べたいキーワードを入力する。

手順3) リンク先から論文にアクセスする！

以上です。ただし、論文の全文表示は有料というケース(購入が必要)があります。ただ、その場合でも、Abstract だけでしたら読めるケースもありますので、注意しながら検索してくださいね。

J-Stage を使ってみよう

J-Stage という論文検索エンジンもあります。J-Stage には日本語で読める論文が多く、掲載されている記事(論文)のほとんどが「世界中の誰でもPCやスマホで」読むことができます。日本語で検索したいときには、こちらの方が便利かもしれません。参考にしてくださいね。



↑ J-Stage

他にも論文検索の方法はたくさんありますが、まずはこの2つを試してみることをお勧めします！もし何か不明な点がありましたら、生物・物理・化学・数学各準備室にいますSSH担当教員に質問してくださいね。

それでは、また！ ここまで読んでくださり、ありがとうございました。
